



バーラ株式モデル マーケットインパクトモデル

(米国株式 USE3 モデル対応)

特徴

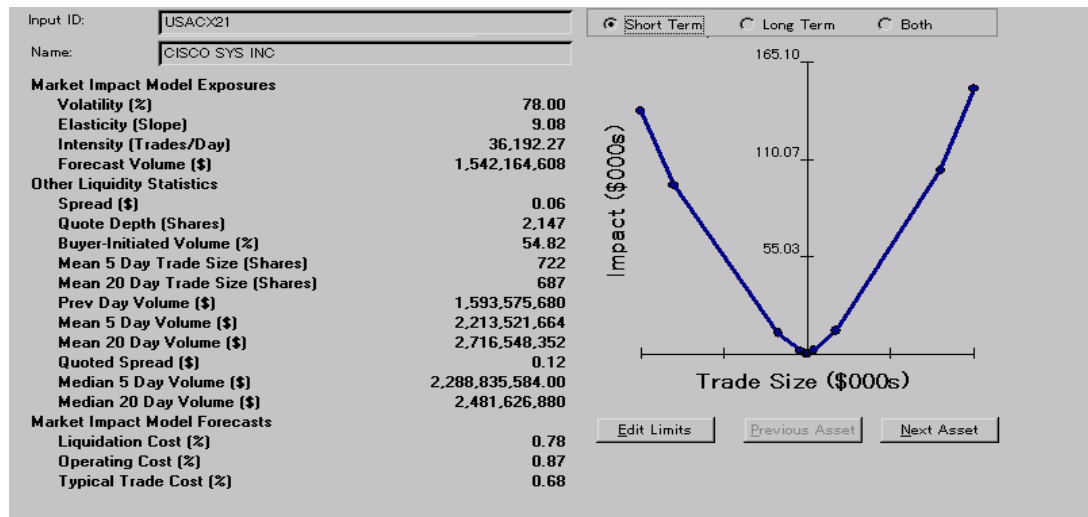
バーラ マーケットインパクトモデルは、お客様の取引コストを事前に推定する事によって、効果的な売買を可能に致します。取引コストはお客様が売買執行しようとする場合、マーケットでの流動性により相応のコストがかかり、当初期待していたリターンを減少させます。そのコストがまったくコントロールされないとしたら、お客様の投資目的は大幅に損なわれる事になりかねません。バーラ・マーケットインパクトモデルは、取引前にかかるであろうコストを推定します。結果として、コストに見合うトレードが可能な場合のみ売買する事が出来るようになります。さらに、お客様が計画しているポートフォリオを作る為に、最もコストのかからない売買の仕方を見出す事も出来ます。売買コストの正確な管理を行う事によって、お客様の運用資産の継続的なポートフォリオ価値の向上が可能となる訳です。

機能

- 直接および間接的にかかる売買コストを予測
特に隠れたコストであるマーケットインパクトコストをタイムリーかつ正確に推定
- 個別株式及びポートフォリオの流動性特性の判定
- お客様の投資スタイルにかかるコストの評価
- コスト、リスク、リターンをバランスさせて、最適なポートフォリオを構築
- お客様の投資環境に合わせて、分析条件を設定できる

取引規模が間接的にかかるコストにどのように影響するか？

下記はマーケット・インパクト・モデルの銘柄詳細の画面になります。(右側にあるグラフに示されるように) 取引規模の異なるいくつかの例について、短期及び長期の取引コストがそれぞれどのように違うかがわかります。市況の変動に基づく間接コストは、取引規模が大きくなると、幾何級数的に増大すること、また、購入コストも売却コストも変わってくる事が直ちに読み取れます。



マーケットインパクトモデルによる最適化

バーラモデルの最適化ツールはお客様の効用を最大にするポートフォリオを構築するお手伝いをいたします。

$$Utility = r - \lambda \sigma^2 - c$$

r = 期待値、 λ = リスク拒否度、 σ = リスク、 c = 取引コスト

バーラの最適化アルゴリズムは同時に取引可能な全ての取引を考慮しているだけでなく、マーケットインパクトコストの非線型性をも完全に反映しています。その結果、お客様の投資環境に適したポートフォリオ構築が可能になります。また、より実現可能な取引リストを得る為に、最適解では日々の取引高の予想数値とといったような要素によって制約条件を与える事が出来ます。ポートフォリオ構築時に取引の現実を前もって考慮することによって、売買執行が困難となるものを予め除き、構築した最終ポートフォリオが実際に最適なポートフォリオであることをご確認頂けます。

マーケットインパクトコストを推定するためのファクター・変数

モデルファクター

個別銘柄株式レベルでの推定

変動性 (Volatility) : 資産価格の変動性を計測

弾力性 (Elasticity) : 価格変化に対する注文フローの反応性向を計測

強度 (Intensity) : 直近の取引頻度の予測

形状 (Shape) : 取引サイズの分布を表現

市場レベルでの推定

マーケットトーン (Market Tone) : 市場全体での流動性コスト

指定可能な変数

オーダーサイズ 取引銘柄 ID、売買株数

取引環境 トレードスキル・クロス取引の可否・ユーザー定義によるコミッション

マーケットインパクトモデルは、各銘柄ごとにその特徴を表す4つのファクターと、現在のマーケットを捉える市場全体に共通なファクター、マーケットトーンによって説明されます。さらに分析はお客様の取引規模や、お客様のトレードスキルをも考慮に入れます。

モデルによる分析レポート

このモデルによる分析のアウトプットは、取引にかかる費用を予測したものです。ポートフォリオレベルの場合、これらの費用の推定値は、流動性、効用、並びに特定の投資スタイルのコストに関する分析にまとめられます。最適化ツールでは推定されたコストを考慮し最適なポートフォリオを構築します。また、モデルにより得られるレポートを用いポートフォリオのモニタリングや決め商いの際の値決め等を容易に行うことが出来ます。

データ更新

マーケットインパクトモデルのデータは、直近のマーケット動向を反映するためにバーラリンクによって日次で更新されます。



お問い合わせ・ご連絡は
バーラ・ジャパン(株) 03-5402-4152 まで